

読み方ガイド／目次

読み方ガイド

保土谷化学グループが描くVISIONとは？

新しいVISIONとして「独創をミガキ、共創でヒラク 本邦嚆矢（ほんぼうこうし）のDNAで、価値を創り、夢をカタチに」を掲げています。創業110周年を起点に、多様なステークホルダーとの共創を通じて非連続な成長を実現する姿を提示しています。

▶ 中期経営計画「コード2030 (CODE/CHORD 2030)」の基本方針 P.13

どのように収益基盤を強固にするのか？

成長を牽引する有機EL材料事業に加え、「第2・第3の柱」を確立すべくポートフォリオ変革に挑んでいます。核酸医薬分野や半導体材料への新規展開や、海外企業の買収による特殊化学品事業の強化、抜本的な構造改革など、セグメント別の成長シナリオと課題を説明しています。

▶ 社長メッセージ P.5-8 ▶ 事業概要、課題と対策 P.24-28

今後の投資・財務の方針は？

成長投資を加速させるため、財務の健全性を維持しながら、適切なレバレッジを活用する資本政策へと進化させます。中期経営計画期間中のキャッシュアロケーションや、2031年3月期にDOE3.0%以上の株主還元を実施する方針について詳述しています。

▶ 財務戦略・資本政策 P.19-20

非連続な成長を支える価値創造の源泉は？

「本邦嚆矢」の精神と長年培ってきた独創的な技術力が価値創造の源泉です。研究開発・生産・営業が連携する「三位一体」のビジネスモデル、投資パラダイムの転換、ステークホルダーとの共創の推進、それらを原動力として次代の収益の柱を育てる戦略を紹介しています。

▶ 社長メッセージ P.5-8 ▶ Cutting Edge P.15-16

持続的な企業価値向上を目指したガバナンス体制とは？

迅速な経営判断を可能にする監査等委員会設置会社の体制の下、監督機能を重視したモニタリングモデルを推進しています。社外取締役が委員長を務める指名・報酬委員会の設置をはじめ、女性社外取締役の招聘や女性執行役員の登用など、取締役会の独立性・多様性向上に向けた取り組み等について記載しています。

▶ 戦略の実現を支えるガバナンス P.38-47

目次

序章

読み方ガイド／目次	1
経営理念	2
At a Glance	3
保土谷化学グループのイノベーションの歴史	4

課題と対峙する

社長メッセージ	5
リスクと機会	9
価値創造を実現する「6つの資本」とマテリアリティ	10
保土谷化学グループの価値創造プロセス	11
前中期経営計画の振り返り	12
中期経営計画 「コード2030 (CODE/CHORD 2030)」の基本方針	13
中期経営計画 成長戦略の柱	14

成長の柱

Cutting Edge	15
未来会議	17
財務戦略・資本政策	19
人材戦略	21
研究開発／知的財産戦略	22
DX	23

事業概要、課題と対策

機能性色素セグメント	24
機能性樹脂セグメント	25
基礎化学品セグメント	26
アグロサイエンスセグメント	27
物流関連セグメント	28

サステナビリティと社会価値

保土谷化学グループのサステナビリティ	29
TCFD提言に沿った情報開示	29
レスポンスブル・ケア	
— 環境	30
— 労働安全衛生・保安防災	31
— 化学品・製品安全	32
— 品質保証	33
— 調達活動	34
人権の尊重	35
地域・社会	36

戦略の実現を支えるガバナンス

社外取締役鼎談	38
ガバナンス体制全体像	40
取締役会	41
役員紹介	43
スキルマトリクス／取締役選任理由	44
サクセッションプラン／報酬	45
コンプライアンス	46
リスクマネジメント	47

データ

非財務ハイライト	48
主なESGデータ	49
財務ハイライト（連結）	50
6か年の主要財務データ／真正性表明	51
MD&A	52
会社情報／株式情報	54
グローバルネットワーク	55